

# この写真集に使用されている記号など

2026.04.26

## 1 カートリッジ性能要目の番号(写真集に記載している番号)

- |  |   |
|--|---|
| ① 発電方式 (MM,MCなど)                       | ⑪ チャンネルセパレーション (dB,1kHz)                          |
| ② 再生周波数帯域 (Hz)                         | ⑫ チャンネルバランス (dB)                                  |
| ③ 出力電圧 (mV,1kHz,5cm/sec)               | ⑬ ダイナミックコンプライアンス ( $\times 10^{-6}$ cm/dyne)      |
| ④ 針先形状 (mil, mm, $\mu$ )               | ⑭ コイルインピーダンス (MC: $\Omega$ ,MM他:k $\Omega$ ,1kHz) |
| ⑤ 自重 (g)                               | ⑮ コイルインダクタンス (mH,1kHz)                            |
| ⑥ 針圧 (g)                               | ⑯ 発売日   |
| ⑦ コイル直流抵抗 ( $\Omega$ )                 | ⑰ 購入店名  |
| ⑧ 負荷抵抗 (MC: $\Omega$ ,MM他:k $\Omega$ ) | ⑱ 定価 (発売初期の価格)                                    |
| ⑨ 垂直トラッキング角 (度)                        | ⑲ 周波数特性表の有無                                       |
| ⑩ 負荷容量 (pF)                            | ⑳ データ取得源 (ステレオガイト (SG)他)                          |

## 2 カートリッジの形式 (主として文末記載の書籍を参考にした。)

BF: Balanced Flux 東京サウンド(株)が表示使用。「フォノ・カートリッジ大全」(海老沢徹著)のバランス・アマチュア型と同一と思われる。(MI型に分類)

DM: Dual Magnet トリオが表示使用 (MM型に分類)

FB: Flux Bridge、Grado社が1974年に開発、カンチレバーの発電側に「金属ディスク」だけを装着 (MI型に分類)

IM: Induced Magnetic インデュースド マグネチック

ADC社により初めて作られ、構造的にMM型のマグネットの代わりに高透磁率材を用いて、その材料の磁束の変化を電気信号として固定コイルで検出する。(MI型に分類)

MF: Moving Flux グランツが表示使用。(MI型に分類)

MI: Moving Iron ムービング アイアン

MM型のマグネットの位置に高透磁率の鉄片を取付け、固定マグネットの磁束の変化を電気信号として固定コイルで検出する。

MM: Moving Magnet ムービング マグネット

カンチレバーに取り付けたマグネットの振動を固定コイルで磁束の変化を電気信号として検出する。

MP: Moving Parmaroy (MI型に分類)

パーマロイとは鉄、ニッケルを主成分とする高透磁率材です。

リボン: リボン状の一回巻きコイルによる電気信号検出、出力が小さい。ナガオカなど表示使用。(MC型に分類)

Variable Reluctance Cartridge バリレラ:

General Electric社によって考案されたもの。振動する高透磁率磁性材のスタイラスが、磁気回路中のギャップの磁気抵抗(レラクタンス)を変化させ、ヨークを経てコイルに電圧を誘起させる構造。(MI型に分類)

VF: Variable Flux (MI型に分類)

マイクロ VF-3200/eカートリッジにて使用。

VL : Vertical Lateral デッカが使用している。(MM型に分類)

レコードの信号をVertical (垂直方向) とLateral (水平方向) の成分として検出し、合成して左右別々の信号を取り出す方式。

VMS : Variable Magnetic Shunt オルトフォンが表示使用 (MI型に分類)

MC : Moving Coil ムービング コイル

固定磁石の磁束の中でカンチレバーに取り付けたコイルを振動させて電気信号を検出する。

CON : Condenser

コンデンサーの片側の電極をカンチレバーにより変位させて、コンデンサーの容量を変化させる事により、電気信号の変化を得る。

Semiconductor: 半導体

ピエゾ抵抗効果形カートリッジとも呼ばれ、ゲルマニウム、シリコン等の半導体の結晶が持つピエゾ抵抗効果を利用したもの。

Photo : Photo Electric 光電型

光エネルギーを電気エネルギーに変換する光電効果を利用し、カートリッジに取り付けた遮蔽板で光量を変化させて電気信号を検出する。

参考文献 : \* 1 最新オーディオ事典 ((株)ラジオ技術社、昭和49年8月20日3版1刷発行)

\* 2 フォノ・カートリッジ大全 (海老沢徹著、(株)アイエー出版、2005年11月1日初版発行)

### 3 データ取得源⑳の略号

'75 : HI-FI STEREOGUIDO、'75-76、HI-FI STEREOGUIDO Vol.3

株式会社ステレオサウンド、昭和50年11月25日発行

'78 : HI-FI STEREOGUIDO、1978、HI-FI STEREOGUIDO Vol.8

株式会社ステレオサウンド、昭和53年6月30日発行

'80 : HI-FI STEREOGUIDO、1980、HI-FI STEREOGUIDO Vol.12

株式会社ステレオサウンド、昭和55年6月30日発行

'81 : HI-FI STEREOGUIDO、'81-'82、HI-FI STEREOGUIDO Vol.15

株式会社ステレオサウンド、昭和56年12月20日発行

'84 : HI-FI STEREOGUIDO、'84-'85、HI-FI STEREOGUIDO Vol.21

株式会社ステレオサウンド、昭和59年12月20日発行

'87 : HI-FI STEREOGUIDO、1987、HI-FI STEREOGUIDO Vol.26

株式会社ステレオサウンド、昭和62年6月25日発行

'89 : HI-FI STEREOGUIDO、1989、HI-FI STEREOGUIDO Vol.28

株式会社ステレオサウンド、昭和63年12月25日発行

'92 : HI-FI STEREOGUIDO、1992、HI-FI STEREOGUIDO Vol.31

株式会社ステレオサウンド、1992年1月1日発行

取説 : 製品に同梱されている取扱説明書など